

## 奥越地区魅力ある県立高校づくり検討会議について

## 1 趣 旨

学識経験者、教育関係者、保護者、産業界関係者など様々な分野の委員で構成する検討会議を設置し、奥越地区における県立高校全体の振興方策等について具体的検討を行う。[2ページ参照](#)

## 2 主な論点

- (1) 総合産業高校における教育内容の充実について
  - ・学科の在り方（工業系学科、生活福祉科(仮称)の在り方）等[3ページ参照](#)
- (2) 普通科系高校（大野・勝山）における教育内容の充実について
  - ・勝山高校普通科情報コースの在り方 等[5ページ参照](#)
- (3) 学習活動や学校行事、部活動等の各学校共通の課題について
- (4) 施設・設備の充実について
- (5) その他

## 3 検討スケジュール

平成21年 8月	検討会議設置
平成21年10月頃	検討内容の中間報告
平成22年 3月頃	検討結果のまとめ

※ 検討会議は3回程度開催。併せて、専門部会による協議を随時開催。

## 奥越地区魅力ある県立高校づくり検討会議

### 【設置目的】

- ・奥越地区における県立高校全体の振興方策等について具体的検討を行い、より充実した高校教育の実現を図る。

### 【検討内容】

- ・奥越地区の高校教育の充実策(普通科、職業系専門学科)
- ・各学校共通の課題(学習活動、学校行事、部活動等)
- ・新高校の教育内容の充実策
- ・その他

### 【専門部会】

- ・各県立学校の教職員、教育委員会事務局職員等で構成
- ・各学校の個別事項について検討

#### 大野高校検討部会

##### 【検討内容】

- 普通科の教育内容の充実
  - ・学力向上等
- 学校の魅力向上
  - ・部活動充実策
  - ・地域の学校としての魅力づくり
- 教育環境の整備
- 定時制教育の在り方

#### 勝山高校検討部会

##### 【検討内容】

- 普通科の教育内容の充実
  - ・学力向上等
- 学校の魅力向上
  - ・部活動充実策
  - ・地域の学校としての魅力づくり
- 教育環境の整備
- 普通科情報コースの在り方

#### 新高校検討部会 (大野東・勝山南)

##### 【検討内容】

- 職業教育の充実
  - ・地域の産業、観光の学習等
- 学校の魅力向上
  - ・部活動充実策
  - ・地域の学校としての魅力づくり
- 教育環境の整備
- 新高校開校に向けた教育内容の充実策
- 在校生(大野東・勝山南)への配慮
  - ・卒業までのきめ細かな教育体制の確保

## 総合産業高校における教育内容の充実について

### 1 工業系学科

#### (1) 再編整備第1次実施計画における方向性

##### 【再編整備計画 P11】

- ・工業科は、工業の基礎的分野である機械科、電気科を置く。

#### (2) 現状と課題【協議資料1 P6～8参照】

- ・大野東高校情報・建設科建設コースの生徒数は減少しており、小規模化が進んでいる。
- ・直近3年間で、学科と関連のある業種（建設業）に就いた生徒数は、毎年2～3人。また、他の工業系学科からも建設業に就く生徒がある。
- ・奥越地区の事業所数、従業者数をみると、建設業の割合が高く、建設業は奥越の主要産業と言える。
- ・再編整備計画策定に当たって実施したパブリックコメントや、PTA・同窓会等からも、建設コースの存続を求める意見がある。

### 2 生活福祉科（仮称）

#### (1) 再編整備第1次実施計画における方向性

##### 【再編整備計画 P11】

- ・衣食住、福祉サービス分野の基本を総合的に学ぶとともに、介護福祉士、調理師等の資格取得にも対応した「生活福祉科（仮称）」を新設し、コース制（福祉コース、食文化コース）を導入する。

#### (2) 現状と課題【協議資料1 P6～8参照】

- ・家庭学科については、食だけではなく、被服等の内容を取り入れることで、教育効果を高めている学校が多い。
- ・勝山南高校生活経営科においては、食物、被服の実習を中心に、興味の或る専門科目の知識・技術を身に付けることを通じ、勉強することの楽しさ・意義を理解し、学習に意欲的になるという成果をあげている。

- ・ 県内家庭学科の卒業生の進路をみると、卒業者の約58%が進学しており、うち8割が関連学科への進学をしている。(家庭学科で学んだことを生かして、さらに上級学校へ進み、保育士、調理師、管理栄養士、栄養士、デザイナーなどの資格を求める傾向が高い。)

◇生活福祉科食文化コースに調理師養成課程を設置した場合のメリット・デメリット

区 分	メリット	デメリット
調理師養成課程を設置する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「調理師」という国家資格を取得できるため、職業系高校としての魅力向上につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された専門科目を設置(31単位)により、他の分野の教育課程を置く余裕が少なくなり、生徒が興味・関心に応じた科目を選択することが難しくなる。</li> <li>・就職に当たり、毎年調理師資格取得者の需要があるか。</li> </ul>
調理師養成課程を設置しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が興味・関心に応じて被服や食物を選択することで、生徒の学習意欲を高めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取得資格としては、食物技術検定やフードデザイナーなどの民間資格のみで、国家資格の取得は困難。</li> </ul>

## 普通科系高校（大野・勝山）における教育内容の充実について

### 1 再編整備第1次実施計画における方向性

#### 【再編整備計画 P12】

- ・両校とも、奥越地区の進学校として教育内容等の充実を図る。
- ・勝山高校については、情報化社会に主体的に対応できる人材の育成を図るため、普通科に、高度な情報科学学習を行い理工系・情報系大学への進学を目指す「情報コース」を設置する。

### 2 現状と課題【協議資料1 P2、4参照】

- ・大野東高校と勝山南高校の再編統合に当たり、勝山市内の県立高校は1校となる。
- ・普通科におけるコース設定については、今後の生徒数の推移や生徒の通学状況、地域の実情等を踏まえながら、望ましい在り方の検討が必要。